

夢民舎クリームチーズ 最高賞

東京のコンテスト



【安平】町早来のチーズ製造会社「夢民舎」の商品「クリームチーズはやきた」が、東京・表参道ヒルズで今月8～11日に開かれた北海道地チーズ博2019（ホクレン主催）で、グランプリに輝いた。胆振東部地震を乗り越えた快挙に、宮本正典社長（78）は「名だたるチーズの中、選ばれたのは非常にありがたい。これからも多くの人に喜ばれるチーズ作りに励みたい」と喜びをかみしめている。

安平

地チーズ博は、道産チーズの消費拡大を図ろうと、初めて開催。道内のチーズ工房や乳業メーカーなど40社が200種類以上のチーズを出品し、会場では料理

研究者がチーズを使った料理の実演もした。クリームチーズはやきたは、東胆振産の牛乳に生クリームを加え、クリーミーでまろやかな舌触りが特

地震で被災「まち復興の一步に」

鶴川中の生徒に仕事のやりがいや苦労を語る町民



消防士や保育教諭 やりがい語る

むかわの仕事 中学生知って

【むかわ】町内で働く消防士や保育教諭らが仕事の魅力を伝える講演会が19日、鶴川中で開かれ同校の2年生45人が耳を傾けた。町の産業について理解を深め、次世代を担う人材の育成するため、町の特色を学ぶ「むかわ学」の授業の一環。

【むかわ】町内で働く消防士や保育教諭らが仕事の魅力を伝える講演会が19日、鶴川中で開かれ同校の2年生45人が耳を傾けた。町の産業について理解を深め、次世代を担う人材の育成するため、町の特色を学ぶ「むかわ学」の授業の一環。

た。生徒から「胆振東部地震で大変だったことは」と尋ねられた平島さんは「トマトが落下し、機械が壊れる被害を受けた。苦労も多いが、家族と一緒に働けるのが喜び」と伝えた。

【むかわ】町内で働く消防士や保育教諭らが仕事の魅力を伝える講演会が19日、鶴川中で開かれ同校の2年生45人が耳を傾けた。町の産業について理解を深め、次世代を担う人材の育成のため、町の特色を学ぶ「むかわ学」の授業の一環。

苦小牧

苦小牧支社
〒053-0022
苦小牧市表町1丁目3番8号
▷報道 ☎0144・33・5331 FAX 36・2065
Eメール toma@hokkaido-np.co.jp
▷営業・広告 ☎33・5363
▷販売 ☎33・5367

お引越しが決まったら
北海道新聞の道新スポーツ
お手続きの変更もお忘れなく！
変更のお知らせはお近くの道新販売所まで

苦小牧市中心部の新一条通りで15日まで開催した北海道フォトシエニックナイトの実行委員長を務めました。繁華街は胆振東部地震後、自粛ムードや被災者の生活再建で客足が減っていました。このイベントでにぎわいを少し取り戻したいと、希望通信



伊勢 恭伸さん(52) 苦小牧市

タ回れまのし7り
ンるまのの01戻

ひな人形 古式ゆかしく

白老元陣屋資料館 大正期からの250体



大正期から平成初期にわたって作られたひな人形

【白老】3月3日のひな祭り前に、仙台藩白老元陣屋資料館（陣屋町）で、大正期から平成初期にわたって作られたひな人形を集めた「麗しの雛人形展」が開かれ、色鮮やかなひな人形が訪れた人の目を惹きつけている。

町教委主催。和紙製の「和雛」や秋篠宮さまと紀子さまの結婚を機につくられた「平成雛」などのセット、約250体を展示している。室蘭市の介護職員林宏

(仲沢大夢)

とまにち 文芸

短歌

映像より知床の鹿群れをなし
厳冬に耐え運ましく生き
苦小牧 荒川 忠
なおみと圭サーブにラリーブ
レックす妻ルール覚えてお祭
さわぎ 苦小牧 重本 章
ウボボイの建設進む樋音が新
たな年に夢をもたらず
白老 関 善治
親しめる知人旅立ち星になり
アルバムめぐり夢る淋しさ
白老 山田幸一郎
二階より夫と見ている寒西こ
の地に馴みて半世紀すく
新ひだか 守谷 はるみ
お隣の朝日に映える円筒は白
龍にも見え極寒の日々
日高 柴田 素子
思ひ出は遠き日の吾奥山の川
追ひ行く大物の影
浦河 黒沢 信之
ランジスターの電池入れ替

俳句

東の間や高山嶺に墨絵冬の朝
苦小牧 佐藤 堅
置物の猫の顔拭く寒日和
苦小牧 竹内美枝子
コーヒーの香りの仄と寒明く
苦小牧 遠藤 孝明
風の音聞ひて寒夜を眠りけり
苦小牧 桂せい久
満足のジュエリアーアイス波に
帰す 新ひだか 山本 聡
鹿駆けて水墨如く白面は
日高 上居 茂男
幼き日炬燵のぬくみ祖母のひ
ざ 平 取 石森 礼子
亡父の里南部曲り屋掘り炬燵
平 取 吉野 千佳女
喉ぼとけ笑はせて酌む年始
浦河 百瀬わたる
断捨離や書捨てられず去年
今年 浦河 宮沢かすえ
底冷えの厨に立つ朝まだき
様似 佐々木かほる
秋ヤマメ釣果に珍魚川のサバ
様似 佐々木まきはつ